

# 小林式誘引捕獲

～くくり罠を使用した新しい捕獲方法～



林野庁 近畿中国森林管理局

# 野生鳥獣による被害の現状（シカの生息状況）

- シカの生息分布は1978年以降大きく拡大しており、2014年までの36年間で分布域が約2.5倍に拡大するなど深刻な状況。

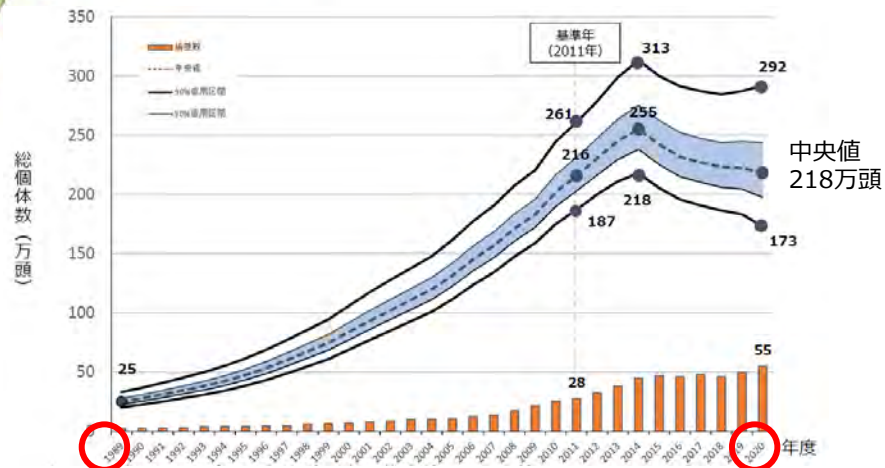
分布状況



密度分布



生息数  
(北海道を除く)



- シカの生息数は1989年から2020年までの30年間で約9倍に増加。

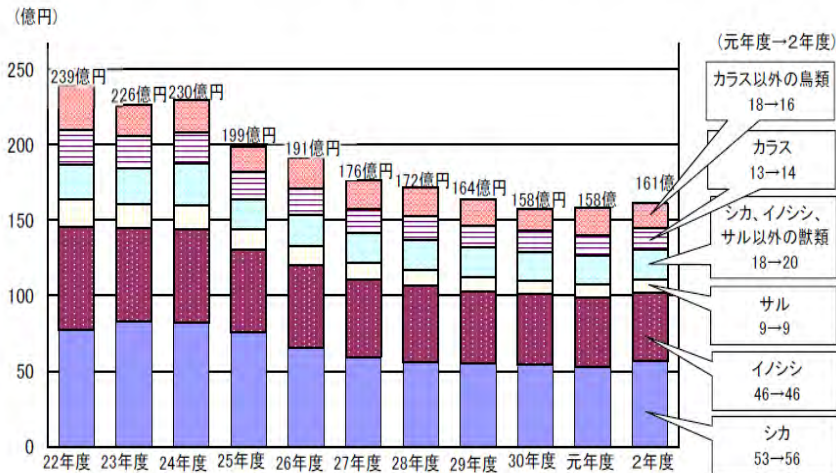
2021年度の北海道の推定個体数は約69万頭

環境省資料

# 野生鳥獣による被害の現状（農林水産被害の概要）

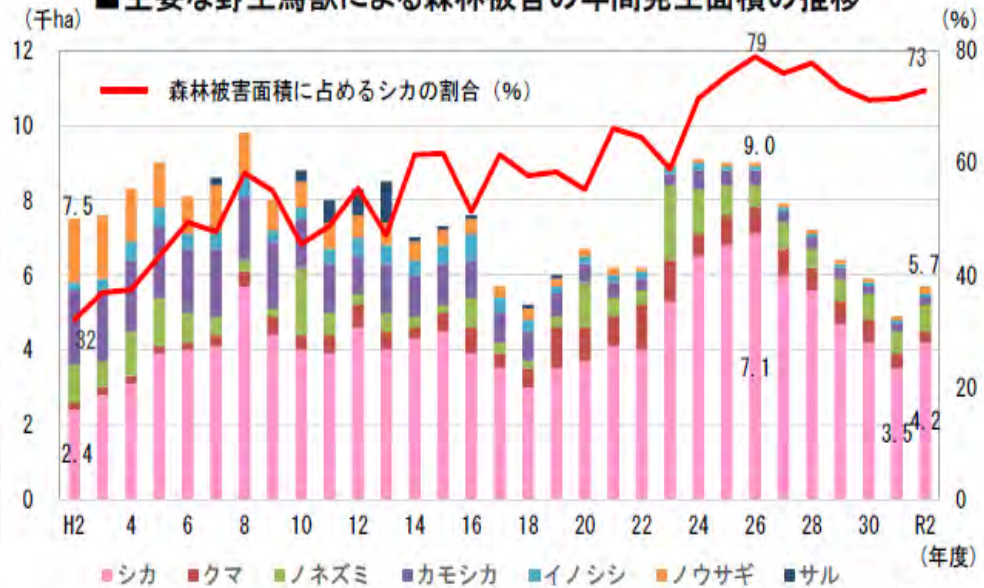
- 野生鳥獣による農作物被害は161億円（令和2年度）。全体の約6割がシカ、イノシシ。
- 森林の被害面積は全国で年間約5700ha（令和2年度）で、このうちシカによる被害が約7割を占める（約4200ha）。
- 鳥獣被害は営農意欲の低下、耕作放棄・離農の増加、さらには森林の下層植生の消失等による土壌流出など、被害額として数字に表れる以上に農山漁村に深刻な影響を及ぼしている。

野生鳥獣による農作物被害金額の推移



出典：全国の野生鳥獣による農作物被害状況について（農林水産省）

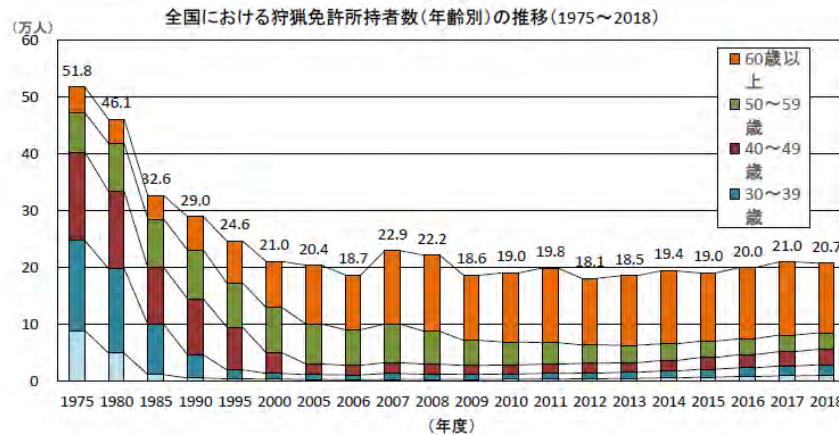
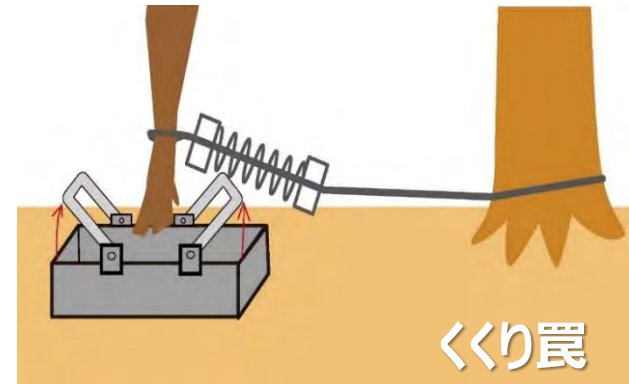
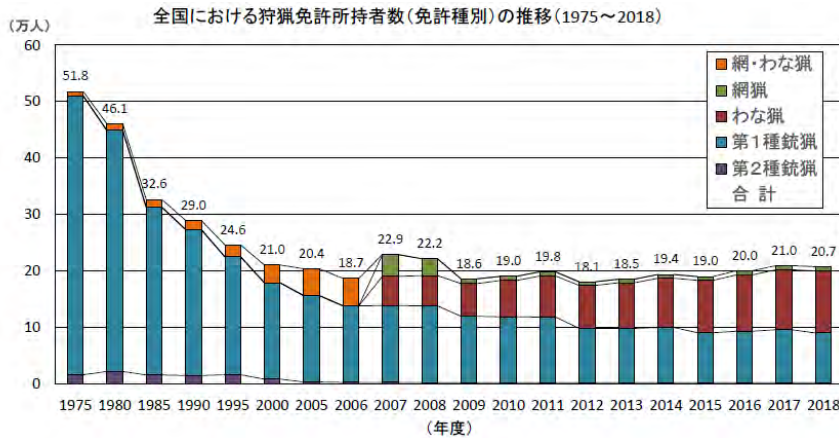
■ 主要な野生鳥獣による森林被害の年間発生面積の推移



出典：森林・林業統計要覧

# 小林式誘引捕獲の開発（捕獲手法の検討）

- 柵などの防御のみではシカ対策は難しいことから、簡単で効率の良い捕獲手法の開発に着手  
→ 罠や箱罠では捕獲率が悪いことから、**くくり罠による捕獲を検討**
- 狩猟者の減少、高齢化が進むなか、わな猟の免許所持者は増加していることから、**初心者でも簡単かつ効率的に捕獲できるわな猟の手法が求められている。**



# 小林式誘引捕獲の開発（新たな発想への転換）

従来のくり罠では、経験が必要

初心者は、捕獲効率が悪い

そのため、餌を使って誘き寄せる方法を検討



獣道にくり罠を設置し、その両端に餌を置く工夫

→通常のくり罠より捕獲効率がアップするが、

従来どおり獣道に設置する技術が必要

また、近くにシカが来ても捕獲できないことも多々あり



もっと簡単に捕獲する手法はないか？

→シカの行動を観察



# 小林式誘引捕獲の開発（シカの行動調査に基づく対策）

餌の食べ方を観察したところ、**食べる際に、口元の横に前足を置く習性**があることが判明。



**くくり罠の周りにドーナツ状に餌をまくことで、簡単に捕獲が出来るのではないか？**

ただし、くくり罠は踏み板の端を踏まれると、空はじき<sup>※</sup>が発生し、スマートディア<sup>※</sup>となる。

→その後の捕獲が難しくなるため、対策が必要。

また、誘引に適した餌の選定が必要。



獣道を観察したところ、石などの障害物を避けて歩くことが分かり、この習性を利用して、罠の周囲に石を隙間なく並べることで、空はじきを大幅に抑制できることが判明。



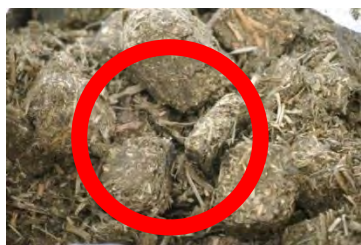
（用語解説）

※空はじき：くくり罠は作動するが捕獲できないこと

※スマートディア：警戒心が高く罠にかかりにくくなったシカ

# 小林式誘引捕獲の開発（餌の選定）

- シカのみ捕獲する際は、ハイキューブが良い（シカが好む餌であり、錯誤捕獲のリスクが非常に少ない）
- イノシシも同時に捕獲する場合は、米ぬか、おからサイレージ等が良い



ハイキューブ◎



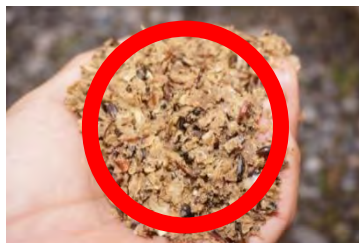
ふすま○



ビール搾り粕×



おから○



おからサイレージ◎



麦茶搾り粕×



米ぬか◎



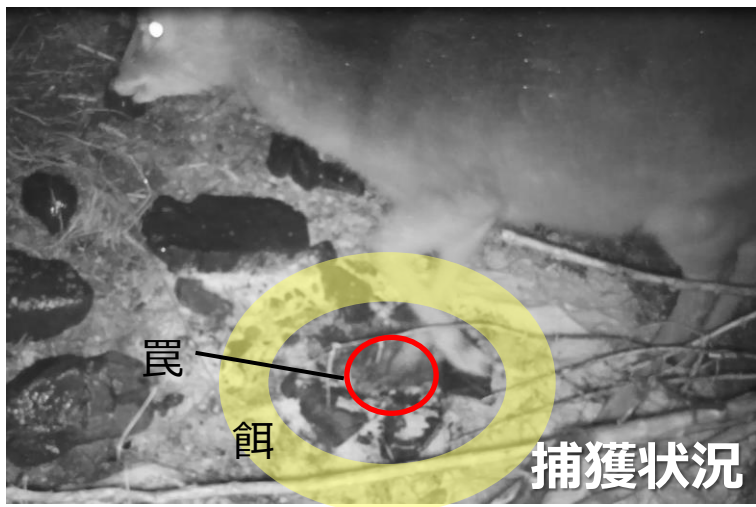
みかん搾り粕○



配合飼料×

# 小林式誘引捕獲のメリット（罠の設置はどこでもOK!）

- 獣道以外でも良く捕れる。また、1箇所複数の罠を設置することで、同時捕獲も可能。





# 小林式誘引捕獲のメリット（労力軽減！安全！簡単！コスト減）

- 道沿いに設置することで見回りや個体処理が容易。
- 車の中から捕獲状況を確認できるため安全。
- 獣道を見極める必要がないことから、初心者でも簡単。
- 獣道へ設置する場合は、状況次第では1基あたり30分程度必要であったが、小林式誘引捕獲は、場所を見極める必要がないことから、1基あたり5～6分程度で設置可能。
- 短期集中で捕獲できることから、見回り等のコスト縮減が可能。

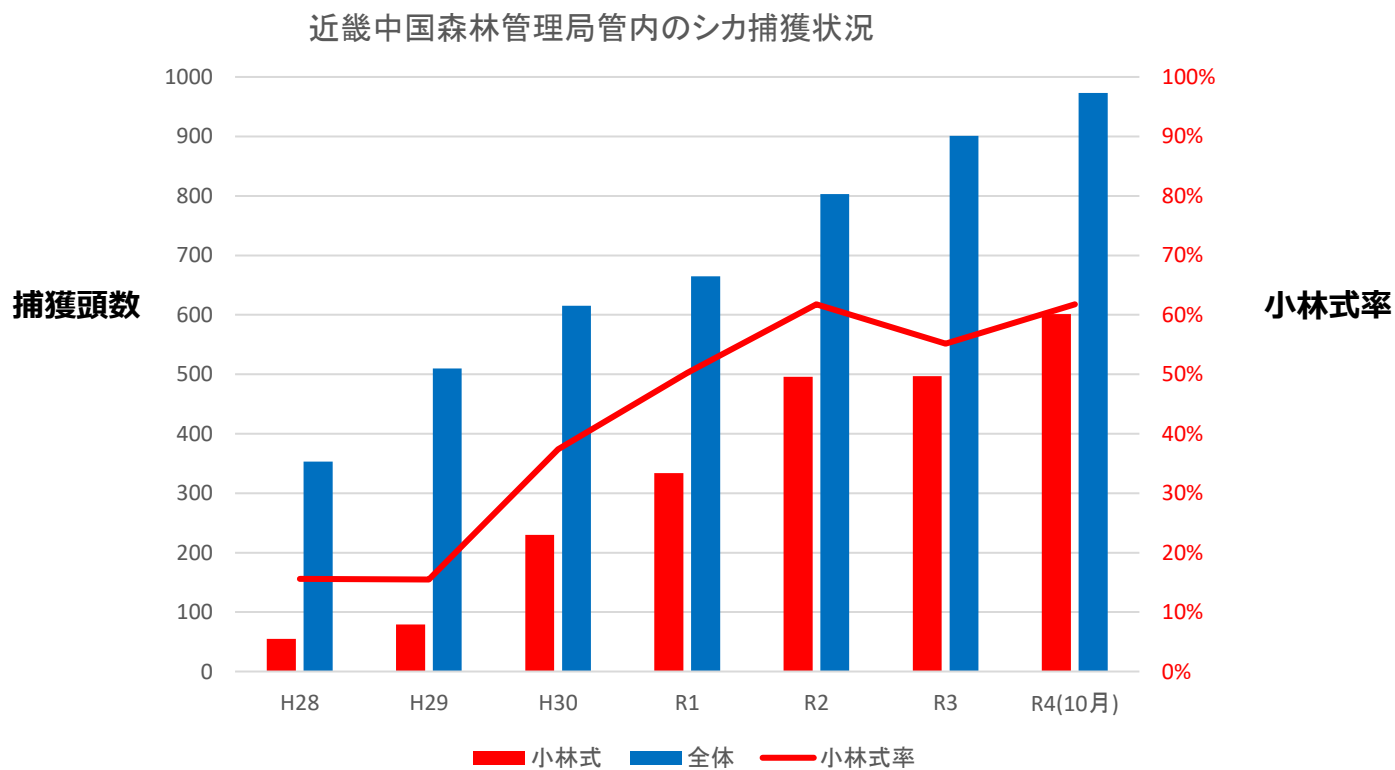


# 小林式誘引捕獲の展開、普及等の実績

## 近畿中国森林管理局管内のシカ捕獲状況

令和4年度では、10月時点で局全体の捕獲頭数のうち約6割の約600頭を小林式誘引捕獲により捕獲。

小林式誘引捕獲の導入に伴い年々捕獲数が増加。



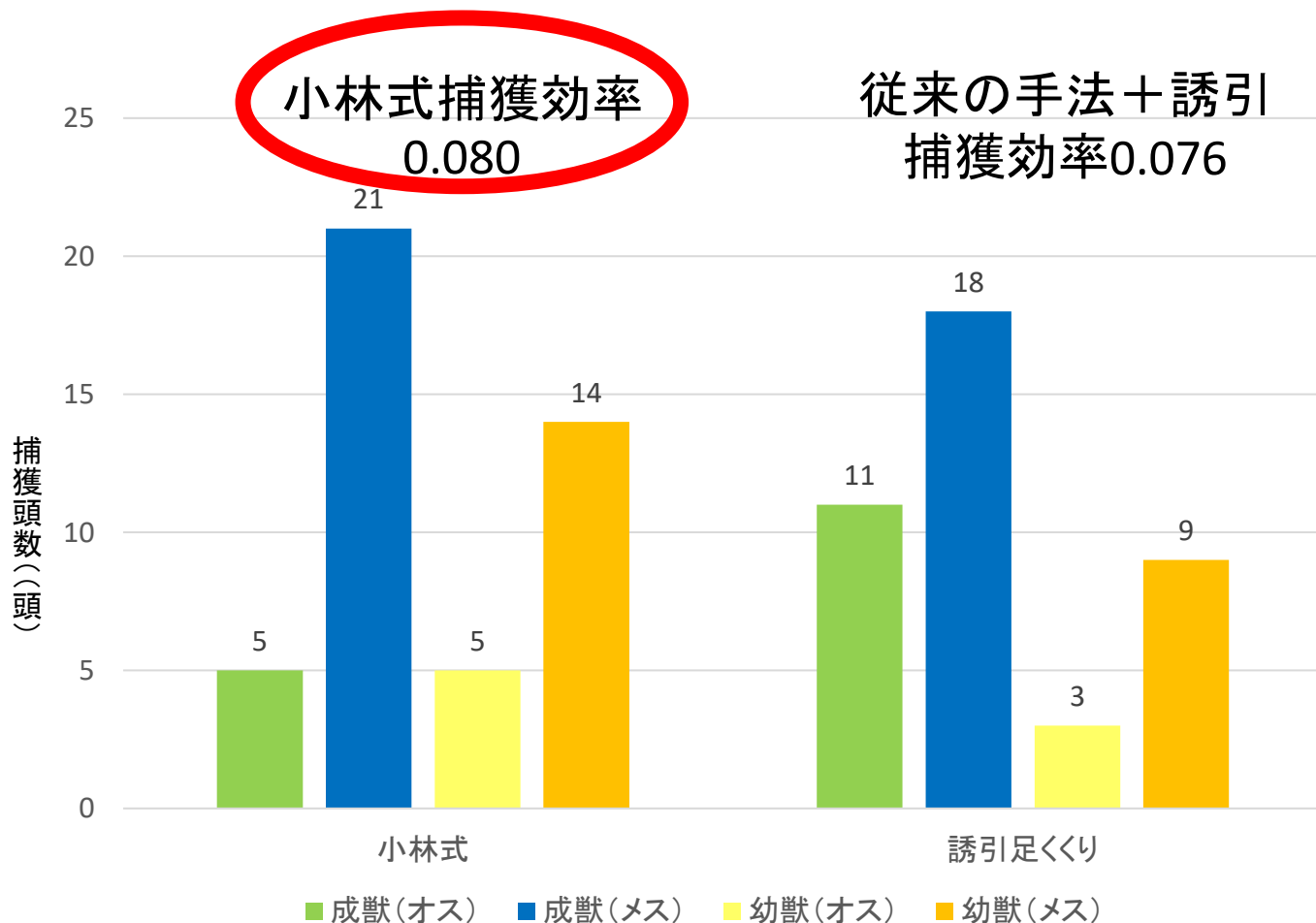
# 小林式誘引捕獲の展開、普及等の実績

## 兵庫署の事例（委託事業）

小林式誘引捕獲の捕獲効率は、ベテラン猟師が従来の手法（獣道に罠を設置）と餌による誘引を組み合わせて捕獲した場合をわずかながら上回ることを確認。

令和元年度鶏籠山外国有林  
（兵庫署）  
2月12日～3月10日（28日）  
平均39基の罠を設置  
全体で86頭のシカを捕獲  
（全体の捕獲効率0.080）

小林式誘引捕獲により  
28日間で45頭捕獲



# 小林式誘引捕獲の展開、普及等の実績

## 奈良県の事例

- 「地域で取り組む獣害対策」に「小林式誘引捕獲法」を紹介
- 「シカによる森林被害緊急対策事業（林野庁）」では、小林式誘引捕獲に取り組んだ3年目に**捕獲効率が約5倍にアップ**

### 3. シカ誘引捕獲法の紹介(くくりわな) —小林式誘引捕獲法—

#### 捕獲効率の比較(事例紹介)

奈良県内で「シカによる森林被害緊急対策事業(林野庁)」を活用し、平成28年度から平成30年度の3年間、野迫川村で実施したシカ捕獲モデル事業の捕獲結果は下表のとおりでした。「小林式誘引捕獲法+わなの移設」によって、捕獲効率が大幅に上昇しました。





年度	捕獲方法	捕獲期間	捕獲頭数	捕獲効率 (頭/基数×日数)	備考
H28	箱わな(檻):2基 くくりわな:22基 (獣道に設置)	45日間 (10月、 12月~1月)	11頭	0.012	クマ人身事故により事業を一時中断し捕獲時期が冬季に。積雪によるわな不動により捕獲数が低迷。
H29	くくりわな:40基 (餌の周囲にわな設置)	46日間 (10月 ~12月)	17頭	0.009	誘引により前半は順調に捕獲が進むが警戒心の高まりに伴い、捕獲数が低迷。
H30	くくりわな:20基 (小林式誘引捕獲法+わなの移設)	30日間 (11月 ~12月)	30頭	0.050	小林式誘引捕獲法と警戒心の高まり対策として実施したわな移設が功を奏し、捕獲頭数が増加。



平成28、29年度事業のわな設置状況  
(箱わな、くくりわな)

平成30年度事業のわな設置状況  
(小林式誘引捕獲法)  
※餌はヘイキューブを使用

## 短期集中 1週間捕獲プログラムの事例

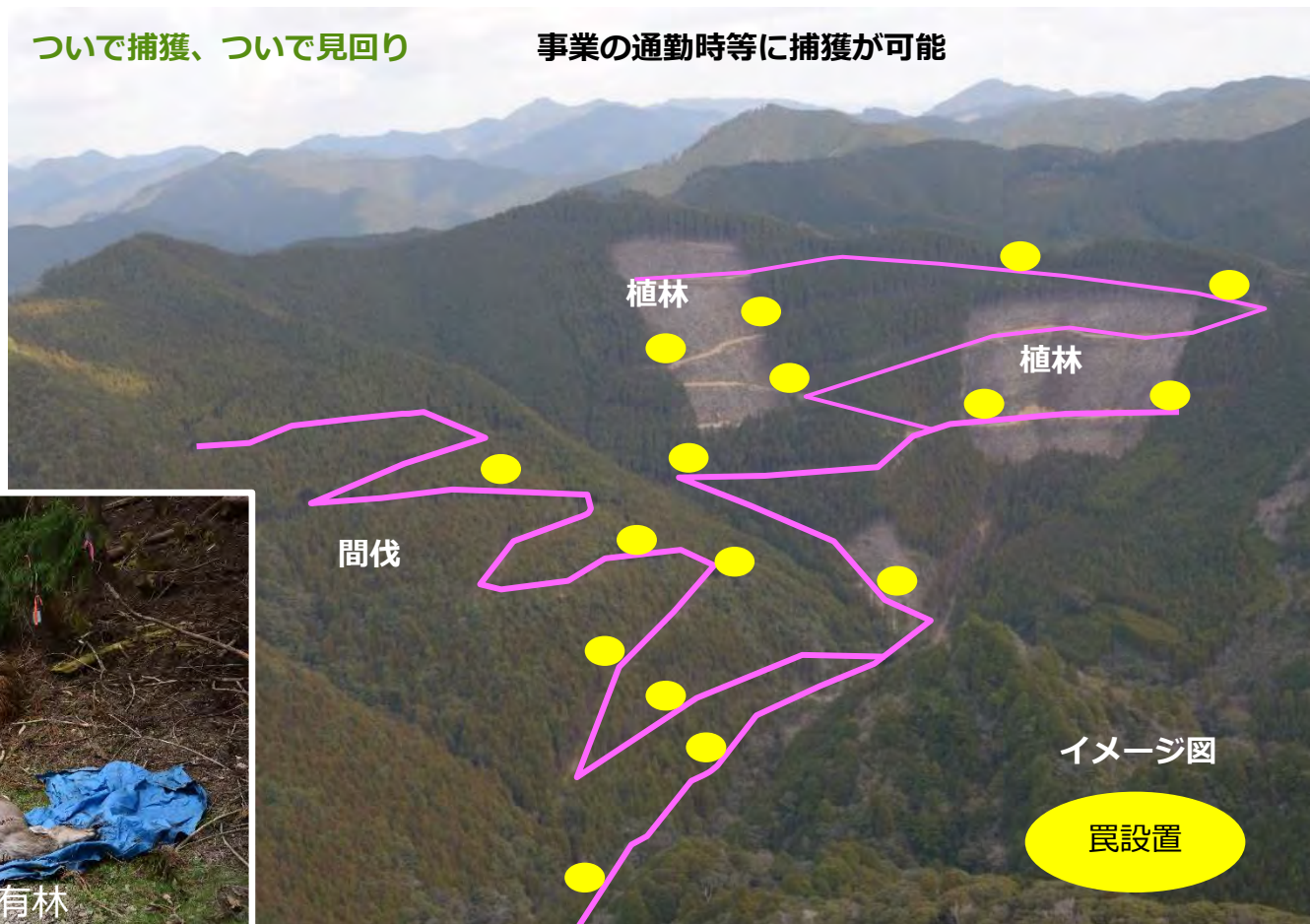
1. 捕獲ポイントの選定  
1日目  

2. 給餌・・・ポイント選定と同時  
1日目（獲物が多い箇所はわな設置）  

3. 採食状況の確認・・・給餌翌日  
2日目  

4. わな設置（捕獲）・・・採食状況確認と同時  
2日目～  

5. 見回り・止めさし・・・わな設置翌日から1週間程度連続  
（獲物が捕れなくなるまで設置）

# 小林式誘引捕獲の活用事例

ついで捕獲、ついで見回り

山林作業や農作業等の通勤途中で簡単に捕獲が可能であるため、仕事のついでに捕獲等が可能。見回りの省力化も図れることから、従来より効率良く捕獲することが期待される。

令和4年10月末時点  
41頭捕獲



# 錯誤捕獲対策

けもの道を避けて小林式誘引捕獲を実施 + ハイキューブ



シカを選択的に捕獲でき、クマなどの  
の錯誤捕獲を防ぐ

荷重調整方法



罠の荷重調整 10 kg以上にすることで、中型獣の錯誤を防ぐ

# 小林式誘引捕獲 まとめ

## 1. わな設置場所の効率化

小林式誘引捕獲では、餌で誘引するため、従来と異なり、道沿線の設置しやすい場所に限定した捕獲が可能となった。また、餌によって捕獲対象を選択することが可能。

## 2. わな設置技術を問わず、捕獲効率も向上

従来のくくり罠による捕獲は、経験や高い技術が必要であったが、小林式誘引捕獲は、餌で誘引し、設置が簡単なため、初心者でも設置でき、捕獲効率も高いことが特徴。

## 3. 安全性の向上

道沿いに限定して設置できることから、車の中から捕獲の状況が把握できるので安全。特にクマやイノシシとの接近遭遇を防ぐことが容易。

## 4. 見回り、止めさしの労力軽減

これまでは、見回り作業に大きな労力が必要であったが、道沿いに限定して設置することで、見回りや止めさし、個体運搬の労力を大幅に軽減できる。

## 5. 低コスト化

小林式誘引捕獲は、誘引できれば高い確率で捕獲できるため、捕獲する日を予め設定することが可能。短期集中で捕獲することにより、トータルコストの抑制が可能。



# 小林式誘引捕獲の展開、普及等

ムック本（狩猟生活2021VOL.9）にて巻頭10ページで紹介される



# 小林式誘引捕獲の展開、普及等

一般の狩猟者がYouTube等で多数紹介



令和3年11月～  
令和4年2月まで  
の期間でシカを  
約40頭捕獲



# 近畿中国森林管理局HPに掲載中



シカ被害対策  
をクリック



YouTubeでも解  
説しています。

